

平成22年度第2回中国ブロッククラブミーティング2010開催報告【1日目】

日時 平成22年11月27日(土) 12:45～17:00
会場 『広島県立総合体育館』
参加者 78名
参加対象 創設支援クラブ

【はじめに】

平成22年11月27日(土)に広島県立総合体育館において、第2回中国ブロッククラブミーティング2010が開催されました。中国ブロック5県の創設支援1年目15クラブから21名、創設支援2年目15クラブから25名の計30クラブ46名と、県体育協会関係者ならびにクラブ育成アドバイザー、地方企画班員、加えて自立支援クラブ及び協議会加入クラブが5クラブ、総勢78名が参加してのクラブミーティングにおいて活発な発表とディスカッションが行われました。



【趣旨説明】

はじめに、中国ブロック地方企画班長(米谷正造)から趣旨説明とクラブミーティングのスケジュールについて説明が行われました。

創設支援クラブを対象としたこのクラブミーティングは、既に設立済みのクラブからその情報を得て自らのクラブの設立に役立てることと、ブロック内クラブ間の親交とネットワークを密にするところにあります。そこで今年度は、小規模、行政主導、公民館を中心、自主自立、後継者育成、の5つをテーマに設定し、それに合致する中国ブロック内5つの先進クラブに発表をお願いしました。ミーティングの流れは以下の通りです。

- 1) 全体会で5つの先進クラブの概略と特徴をそれぞれ5分程度で発表
- 2) その概略をもとに自己のクラブの設立に際して参考になるクラブを選ぶ
- 3) ブースに別れ、クラブの詳細な説明を聞いた後に質疑応答

【ブース巡り】

一昨年度は1人3クラブ、昨年度は1人2クラブのブース巡りができるように時間設定を行いましたが、今年度は昨年度と同様に1人2クラブのブースを巡れるようにしました。今回は30クラブ中16のクラブが複数人で参加していましたので、実質的には多くの参加クラブが4つのブースを巡ったこととなります。1回のブース巡りの時間は、発表30分+質疑応答20分の計50分間で、それを2回実施しました。

1) クラブ概要

今回は1日目2日目とも5つのブースを設定しましたが、2日目の自立支援クラブを対象にしたものと併せて中国5県からそれぞれ1クラブずつ出すことにしました。1日目は、広島県、島根県、山口県からの以下の5クラブでした。この5クラブの特徴と概要は以下の通りです。

小規模クラブ

- ・名田島コミュニティクラブ(山口県)(発表者…小林由幸さん:事務局長)
設立年(平成20年) 所在地(山口県山口市名田島) 対象地区内(小学校1校)

人口（約1,500人） 予算規模（700,000円/年：内補助金43%） 会員数（約150人）

設立の経緯と特徴（地域活力の衰退とコミュニティの崩壊が危惧されており、スポーツ文化活動を通して「魅力ある地域づくり」の一貫として設立。小規模クラブならではの女性や若手による運営と補助金に頼らない身の丈にあった収支）

行政主導クラブ

- ・ひかわスポーツ夢クラブ（発表者・・・宍道年弘さん：オブザーバー）

設立年（平成22年） 所在地（島根県簸川郡斐川町） 対象地区内（小学校4校、中学校2校）

人口（約28,000人） 予算規模（11,59300円/年：内補助金87.5%） 会員数（174人）

設立の経緯と特徴（平成20年4月に町教育委員会生涯学習課内に事務局を置き、2年間の準備期間を経て平成22年3月に設立総会、4月1日から運営を開始した。行政の支援（町からの補助金や公共広報手段）を活用できる。多彩な資格を持つ公認クラブマネジャーを採用。）

公民館を中心としたクラブ

- ・Koi Koiスポーツクラブ（発表者・・・中川和幸さん：クラブマネジャー）

設立年（平成19年） 所在地（広島県西区己斐本町） 対象地区内（小学校2校、中学校1校）

人口（約1,5000人） 予算規模（3,700,000円/年：内補助金60%） 会員数（約160人）

設立の経緯と特徴（体協の活動メンバーは固定しているため、体協に属していない人たちにスポーツをしていただくために設立。活動場所が少なく、河川敷などを利用してグランドゴルフ、ウォーキングなどを開催。地域アスリートと交流し教室での指導を受けている。）

自主自立クラブ

- ・菊川スポーツクラブ（発表者・・・井上登代子さん：クラブマネジャー）

設立年（平成18年） 所在地（山口県下関市） 対象地区内（小学校3校、中学校1校）

人口（約8,000人） 予算規模（19,100,000円/年：内補助金77%） 会員数（約460人）

設立の経緯と経緯（平成17年に下関市と旧豊浦郡が合併し、菊川らしいスポーツ環境を残すため準備委員会を設立。スポーツ少年団が母体。行政と一緒に立ち上がったため、町内の体育施設の指定管理を受けて、町内のスポーツ全般を体育協会と共に担う。）

後継者育成に取り組んでいるクラブ

- ・どんぐりクラブ屋台村（発表者・・・竹丸学さん：会長）

設立年（平成15年） 所在地（広島市山県郡北広島町） 対象地区内（小学校3校、中学校1校）

人口（約4,000人） 予算規模（18,00,000円/年：内補助金0.5%） 会員数（約430人）

設立の経緯と特徴（町教育委員会が国のモデル事業として推進し、その後地域主導で設立。とにかく前に進むこと。後ろを振り返らない。）

2) ブースでの質疑応答

創設支援1年目のクラブは準備委員会を設置し少しずつ具体的な問題に直面する時期でもあり、地域との関係づくり、他の組織との連携、行政の支援、賛同者・協力者の確保方法、組織運営などについての質問が多くなされました。また、創設支援2年目のクラブからは、会費や種目の設定方法、クラブハウスや活動場所の確保、自主財源の確保、年間の収支状況、事務局のあり方やその経費、次の世代への継承など、より具体的で発展的な質問がされ、それらの質問に対して発表クラブから苦労話や失敗談を交えながら熱心で丁寧なアドバイスがされていました。また、発表クラブ自身も自らのクラブが持つ課題を克服するための方法を模索するための情報をフロアと共に考える場面もあり、活気に満ちたブース巡りになりました。



名田島コミュニティクラブ



ひかわスポーツ夢クラブ



Koi Koiスポーツクラブ



菊川スポーツクラブ



どんぐりクラブ屋台村

【コーヒーブレイク&情報交換会】

約2時間のブース巡りの後、各クラブが持ち寄った地域の銘菓を食べながらのコーヒーブレイク&情報交換会を行いました。ブースでも和やかな雰囲気でしたが、美味しいお菓子を食しながらの情報交換はより一層口も滑らかになり、今日初めて会ったとは思えないような旧知の間柄を彷彿させ、ブースでは出てこなかったようなより深いクラブ談義やが交わされていました。このような親交を契機とした設立に向けての活きた情報交換のひとつは、お互いにとり大変有意義な時間と言えるでしょう。

【おわりに】

クラブミーティングでのブース巡りも今年度で3回目となりました。昨年度まではアドバイスされる立場での参加が、今年は発表しアドバイスをする立場での参加となるクラブも出てきました。クラブ設立に向けて尽力し、苦勞し、協力し、分かち合い、喜びを得ると同じ経験・体験を共有

できるのがこのクラブミーティングの醍醐味だと思います。SC全国ネットワークが立ち上がり、今後より一層幅広く深い協力がなされることと思います。各ブロックや都道府県内、各地域においても人材の交流や情報の交換を今以上に活発に行うことで素晴らしいスポーツ環境や地域づくりに繋がると信じています。

(報告：中国ブロック地方企画班長 米谷正造)

平成22年度 第2回中国ブロックミーティング2010 開催報告【2日目】

日時 平成22年11月28日(日) 12:45~17:00

会場 『広島県立総合体育館』

参加者 75名

参加対象 主に自立支援クラブと都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブ

平成22年度第2回中国ブロッククラブミーティング2010が、11月28日(日)に広島県立総合体育館で開催されました。中国ブロック内の創設支援クラブ・自立支援クラブ・各県総合型クラブ連絡協議会加盟クラブ・各県体育協会関係者・クラブ育成アドバイザー・中国ブロック地方企画班員・SC全国ネットワーク各県代委員の方々を含め75名の参加がありました。



今年度、第2回目の内容は5つのテーマに分けて参加者が興味や関心のあるテーマブースにおいて、クラブからの事例報告を聞き、質疑応答していくスタイルで行いました。

1.趣旨説明・クラブ概要説明

SC全国ネットワークが主催として加わり今年で2年目を迎えた中国ブロックミーティングの開催趣旨を再度確認しました。主にはクラブ間同士が情報を共有し、クラブの諸課題を明らかにし、問題解決の糸口を探ることで新たなクラブ運営を築いていく方策を構築していくこととしました。

・発表クラブの概要説明

5つのテーマに分けたクラブの事例報告を行いました。

小規模クラブ・・・鳥取県 泊クラブ

行政主導型クラブ・・・島根県 SPORTIVOひがしいずも

公民館を中心としたクラブ・・・岡山県 たけのこスポーツ広場

自主自立クラブ・・・鳥取県 境スポーツクラブ

後継者育成に取り組んでいるクラブ・・・岡山県 柵原星の里スポレク倶楽部

小規模クラブ・・・鳥取県 泊クラブ

合併に伴いクラブを設立。体育協会・体育指導委員を中心に設立を進めてきた。特徴としては、スポーツ活動だけでなく文化活動も取り入れ、地域住民が誰でも会員になりやすい工夫をしている。

行政主導クラブ・・・島根県 SPORTIVOひがしいずも

町からの補助金が10,000,000円以上あり、その内訳としては人件費の割合が多くを占めており、来年度以降、町村合併があり、財源的に不安を抱えながらの運営をしている。しかし現町としては、総合型クラブを健康づくりの柱と考えている。

公民館を中心としたクラブ・・・岡山県 たけのこスポーツ広場

少子高齢化に伴い地域事情が大きく変わってくる中、既存の事業が継続困難になり、新たな事業を模索する中、総合型クラブを推奨された。あくまでも、地域コミュニティの形成を元にクラブ運営を進めている。

自主自立クラブ・・・鳥取県 境スポーツクラブ

体育指導委員が母体として活動してきた事業を総合型クラブに移行したクラブ。会費も3倍に値上げしたが、会員に事前説明を十分したことで問題なく移行する事ができた。当初からのスタンスを変えずに、また今後もそのスタンスをベースとし活動を続けていく方向のクラブ。

後継者育成に取り組んでいるクラブ・・・岡山県 柵原星の里スポレク倶楽部

中学生の職場体験をクラブが引き受け、中学生達が実際にクラブの運営を携わる機会を与え、次世代に繋がるクラブ運営を進めている。様々な事業を引き受け、クラブの中に自信が備わり先進的なクラブづくりが展開されている。

2. ブースめぐり

参加者が5つの発表クラブより簡単なクラブ概要の説明を受け、興味・関心を示したブースへと移動し、クラブより約20分間の説明を受けた後に約30分間の質疑応答に入るスタイルで事業をスタートしました。1ブース(1クラブ)約15~16名の参加者が発表クラブより事例報告を受けました。50分間と短い時間ではありましたが、どのブースも意見交換が活発に行われていたように思われます。会場の関係で、1つの会場に3ブースが入った事で、若干声が届きにくい等ありましたが、内容的には大変好評でした。



泊クラブ



S P O R T I V O ひがしいずも



たけのこスポーツ広場



境スポーツクラブ



柵原星の里スポレク倶楽部

3. コーヒーブレイク

各クラブより持ち寄った名産品(お菓子・饅頭など)を頂きながら、約45分フリートークの時間を設けました。至る所でクラブの情報交換が行われ、参加者同士の交流も行われていました。各クラブでの悩みや、自慢話に会場は大変にぎわいを見せていました。ただ話すだけの時間ではありましたが、こういう時間が普段なかなか出来ない事を改めて見直す機会にもなりました。

4. まとめ

発表クラブの報告を聞いて、以前は愚痴のような報告が見受けられていたが今回はほとんど、愚痴はなく、どのクラブも前向きに、目的を持ってクラブ運営をしているように思われました。総合型クラブの設立、育成に関する支援も第2次ステージを迎えています。クラブ運営者が、クラブが自分たちの地域を活性化するための一つの手段として捉えるようになってきていると感じる事ができました。今後は総合型クラブが未来永劫に安定して運営できる体制づくりをSC全国ネットワークを中心に構築していくべきではないかと考えます。最後に本会の総括としてSC全国ネットワーク各県代表委員と発表クラブから、参加者へ今後の取り組みへのエールを送り、第2回中国ブロックミーティング2010を終了しました。

(報告：中国ブロック地方企画班員 関口昌和)